

掲 示 板

【閉館時間変更】

平日
 10月末まで 9:30～19:00
 11月～3月 9:30～18:00
 土日祝日
 9:30～17:00 (変更なし)

11月～3月

【年末年始休館】

期間：12/29 (日)～1/3 (金)
 ※この間、返却ポストもご利用いただけませんので、1/4 (土)以降にご返却ください。



開催イベントのご報告

【セタかざりをつくろう！】

セタかざりと短冊をつくって図書コーナーの壁をかざりました。今年は、見本にもない大作ができた、一つ一つに表情が描きこまれていたり例年にも増して個性溢れるセタかざりになりました！子どもたち(と保護者)の想像力にはいつも驚かされます。



【あじさい語り】

一昨年・昨年とこの時期に開催してきた、ほいねの会の皆さんによる昔話語りの会も、今年が3回目となりました。今回も、笑ったりホロリしたり、なるほどとうなずいたり、色々な昔話を楽しめました。「来年もぜひ！」との声が多数聞かれました。



【夏休み読書ビンゴ】

今年の夏休みは読書ビンゴを初開催。どんな本がどこに並べてあるのかを知っていただければ、と企画しました。いつもは読まない本を読めたと大好評！学習センターが皆さんの、さまざまな分野の本との出会いの場となればいいな…と思います。



【こわ～いおはなし会】

子どもって、なぜ「こわ～いおはなし」が好きなのでしょうか？ご要望にお応えして、今年もボランティアの皆さんがとびっきりのおはなしを披露しました。大人もドキッ!とするようなおはなしもあったとか…次回はあなたも参加してみませんか？



ご参加ありがとうございました！

「学習センターだより 2024年 秋号」
 第14号・2024年10月発行(年4回発行)
 編集・発行 田上町地域学習センター
 住所：田上町大字吉田新丁 242 番地 2
 電話：0256-57-4378



学習センターだより

2024年 秋号

ブックツリーをつくろう！

秋の読書週間(10/27～11/9)を含む3か月でりんごの「ブックツリー」を育てています！図書コーナーにある用紙に「好きな本」や「思い出の本」を書いて、たくさんりんごを実らせましょう！

募集期間： 9/7 (土)～11/17 (日)
 ※展示は11/30 (土)まで

新春！本の福袋

スタッフがテーマごとに厳選した3冊をセットで貸し出します！中身は開けてみてのお楽しみ。今年はどんな本に出会えるでしょうか？数量限定なのでお早めに！

1/4 (土)～ ※なくなり次第終了

クリスマスおはなし会

町内で活動するボランティアさんたちによる、とっておきのおはなし会です！一足早く、クリスマス気分を味わおう！おみやげもあるよ！みんなで来てね！

日時： 12/14 (土) 10:00～、11:00～
 (2回とも同じ内容)
 場所： 学習センター研修ルーム
 対象： 幼児～小学生
 定員： 各回20名(申込不要)

★秋冬もイベントもりだくさん★



田上中学校職場体験を実施しました！

6/25に田上中学校2年生が職場体験を行いました！貸出返却のロールプレイングの他、開館前の準備作業や課題図書コーナーの設置準備に取り組みました。今回の体験を通して、学習センターの業務は意外と人と関わる仕事だということや普段は見えない部分にも様々な工夫があるということに気づいてもらえて嬉しく思います。

おつかれさまでした！



学習センター職員がホントに泣いた本



『小さいわたし』

益田ミリ/著 ポプラ社 (914/マ) 場所：一般文学

小学生の頃の、自分の姿が目浮かび、懐かしい出来事に涙。その姿を我が子に重ね、「こんなふうを考えていたんだ。なんで怒ってしまったのだろう。」と涙。「思い出」にも「今」にも出会える本です。(M.Y)

『世界から猫が消えたなら』

川村元気/著 小学館(小学館文庫) (B913/カ) 場所：文庫

突然の余命宣告。世界から何かを消す代わりに、1日だけ寿命を延ばせる奇妙な取引をします。死を意識することで日常が一変します。今回読み直すと「僕」の母の「僕」に対する想いに、涙があふれました。(T.A)



『きよしこ』

重松清/著 新潮社(新潮文庫) (B913/シ) 場所：YA

吃音の少年の、小学校から大学入学までの成長物語。ここまでの流れだと最後は号泣するに違いないと思いつつ、7つのブロックの最終話を不用意にファミレスで読んでしまい、まんまと人前で涙してしまいました。(F.K)



『しあわせの王子』

ワイルド/原作 いもとようこ/文絵 金の星社 (E/I/昔話) 場所：絵本

南の国へわたる途中につばめが出会ったのは、金ぱくでおおわれた体にサファイアの目の王子像。高い台の上から町をみおろす王子像は、涙ながらにつばめにあるお願い事をします。幼い頃の私が、初めて泣いた物語です。(K.Y)

『母さんがどんなに僕を嫌っても』

歌川たいじ/著 ののはらけい/絵 KADOKAWA (B916/ウ) 場所：児童文学

日常的に虐待やいじめを受け、家にも学校にも居場所がなかった「僕」。それでも自分の人生をあきらめず、夢を叶えていった著者の体験記。著者が見つけた考え方は、まったく異なる生き立ちでも心にささりました。(K.Y)

